

## 放課後等デイサービスにおける支援プログラムについて

作成日：2024年12月1日

LD サポート・療育 ソラアル SSE

### 【法人理念】

- こどもたちひとりひとりの特性をしっかりと見据え、様々な角度から活動のきっかけを作る。
- 療育をベースに、こどもたちが様々な体験を積み重ね、自身の自己認知やソーシャルスキルを磨きながら、生きること・生活することへの自信を育む。
- こどもたち自身が、自分の居場所として楽しむことのできる場所を作る。

### 【支援方針】

#### ☆ 療育プログラムを通して

「療育による身体機能の向上と安定化（学ぶ力の基礎を作ろう）」

「ていねいな子育てのお手伝い」

「感覚統合で生きる力を育もう」

{自分の特性を理解しよう}

#### ☆ 造形スキル向上や音楽療法を通して

「衝動性のコントロールとものづくりの基礎」

「安定する方法の模索と確保」

「こだわりとの折り合い」

「コミュニケーション感覚を磨く」

#### ☆ IT スキル向上を通して

「リテラシーとしての情報処理」（情報リテラシー・ネットリテラシー）

「情報を見極める力の育成」

#### ☆ キャンプやワークショップなどの課外活動を通して

「不安からの過干渉ではなく、自力であゆみだせる豊かな底力（経験）を」

「子どもの発達のために、便利さよりも、選択的不自由さを」

「仲間とのかかわりから生まれる自己認知」

・・・「自己認知」を育むためには「失敗の経験」から苦手なことを認めるのではなく、適切なサポートによる「成功体験」が大切。成功の範疇の広い経験を積み重ね、その中で自らの困難や、必要なサポートを受けいれていけるようにと考えています。

#### ☆ 保護者支援の考え方

「自立＝孤立にならないために」

「共にあゆみ、見守る仲間との出会い」

「まずはお子様の特性の理解から」

以下の5領域について、発達を促す支援・社会生活の基となる支援を顧みながら、支援方針に則ってプログラムを作成しております。

#### ①【健康・生活】

→自分の健康や状態を把握し、生活習慣保持や体調管理を行えるように支援を行います。

●通所時に毎回、検温・手洗い・うがいを実施し・記録し、ひとりひとりの健康状態を把握していきます。

●お子様の特性や発達の過程・特徴を考慮し、小さな変化や違和感から心身の異変に気づけるよう、細やかな観察と本人へのフィードバックを行います。

●睡眠、食事、排泄など基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援します。また、病気の予防や安全にも配慮していきます。

●日常生活や社会生活を充実させるために、それぞれの子どものに適した身体的、精神的、社会的な訓練を兼ねた活動を行います。

●基本となる生活スキルの獲得、清潔な身の回り、気温変化に即した衣類の着脱など、基本的な生活技能を獲得できるよう支援を行います。

●遊びを通して様々な課題を学習できるよう、本人が自分の状態に気付けるような自己調整のスキルを育みます。

●障害の特性に配慮し、見通しを持って取り組める工夫（各種ツール・声掛けのタイミングなど）をしながらの支援を行います。

#### ②【運動・感覚】

→微細運動と粗大運動の両面アプローチ、自分の感覚を認知できる為の支援を行います。

●室内遊具・運動療育・外遊び・バランス運動などを通じて、筋力の維持・強化を図ります。

●造形活動を通し、手先の微細運動・力加減などの認知形成を促します。

- 運動活動・着席活動などを通じ、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持、筋力の維持・強化を図ります。
- 視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚などの五感を十分に働かせ、自覚できるように配慮をしたプログラム活動を行います。
- 眼鏡や各種ツールなど、補助する道具を活用する支援を行います。
- 感覚や認知の特性を考慮し、環境調整など感覚の偏りに対応しながら支援を行います。

### ③【認知・行動】

→様々な事象による変化や自分の特性を理解し、適切な行為・行動に繋げる支援を行います。

- 当日の日付・曜日・スケジュールを掲示や板書で示しながら概念の習得を図ります。
- タイムタイマー等を用いて、活動の切りかえを視覚と聴覚にて促しながら支援を行います。
- 数量・大小・色の違い・重さなどの概念を理解し、計測などにより活用するスキル習得を支援を行います。
- 認知の偏り・認知の特性を踏まえ、(勝ちこだわりや偏食など) 個々人の特性に合った支援と本人へのフィードバックを行います。
- 感覚や認知の特性から生じる行動障害など二次障害への予防に対する支援を行います。

### ④【言語・コミュニケーション】

→適切な発語や対話能力、また他者の意図の理解力を獲得するための支援を行います。

- 簡単なあいさつや会話など、コミュニケーションを行う事ができるよう支援します。
- 具体的な事物や経験と言葉の意味を結び付けながら、その場に適した言語の習得や発語を促しながら支援を行います。
- 話し言葉や文字・記号などを用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりできるように支援を行います。
- 指差し・身振り・目線・表情・サインなど、言語以外での意思の伝達を通じ、意図を察する力の向上を支援いたします。
- 学習障害・計算障害など、本人の特性に合わせた読み書き能力・計算能力の向上の支援を行います。
- アナログゲームやグループ創作活動・ロールプレイ遊びなどを通じ、他者への理解や意図の伝達を支援します。

### ⑤人間関係・社会性

→自分とグループ・社会との関係性を理解し、ルールやマナーに沿った行動ができるよう

支援を行います。

- 小グループ活動やコミュニケーションゲーム活動を通し、自己認知と他者視点を養います。
- 信頼関係を構築し、周囲の人と安心・安定した関係を形成するための活動を通じた支援を行います。
- 活動の中で他者の様子を観察する習慣を育み、社会性・対人関係の発達支援を行います。
- 自己の特性を理解し、そこから発生する行動や感情をコントロールする力を育む支援を行います。
- ほかの集団や様々な活動団体との交流を通じ、社会のルールやマナーに関する知識を養います。
- 小グループでの活動を通じて、集団活動に参加できるよう支援を行います。

#### 【別記①】 家族支援・兄弟支援について

- ご兄弟（ご姉妹）など、同居するお子様たちへの相互影響や課題など、状況に応じた相談を行っており、場合によってはご兄弟（ご姉妹）の療育等のご利用のご相談も行っております。ただし、ご兄弟（ご姉妹）は同時利用ではなく、基本は別日・別時間帯となります。
- お子様を中心に、ご家族同士の関係性や生活環境などのヒアリングや、お子様の療育等を通じた観察から、学校・医療・福祉制度などとの繋がる支援のご相談を行っております。

#### 【別記②】 移行支援について

- 児童発達支援から放課後等デイサービスへ、保育園・幼稚園へ、通常給から支援学校・支援級へ、学校不登校から学校への復帰、中学及び高校・大学への進学について、などの移行支援については、当所での事例を織り交ぜながらの相談を行っております。

#### 【別記③】 地域支援・地域連携について

- 地域の警察署・消防署・病院、または各職業でご活躍の方々などを当所をお招きでの特別プログラム、またイベントを織り交ぜての連携を行っております。

#### 【別記④】 行事について

- スポーツ体験（ボルダリング、トランポランド、逃走中など）、造形イベント、アナログゲーム大会、もちつき、芋ほり、クリスマス会など、随時イベントを行っております（土日・祝日中心）。

#### 【別記⑤】 職員の質の向上に関する取り組み

セラピー、感覚統合、作業療法などのアプローチ別の外部研修や内部研修、運動やアナログゲーム、ゲーム依存などの事例研究中の研修などを随時行っております。

※当事業所の営業時間は基本、月曜日～金曜日の 10:00～18:30 になります。

（土日・祭日の開所については、随時、別途利用者に通知しております）

※当事業所は送迎を実施しておりません。